

三原城本丸御殿跡に標柱新設



〔除幕式で姿を現した「金之間跡の標柱」…三原駅南バスロータリーの植込にて〕

2024.8.22 撮影 正田哲夫(本町)

かつての豪華な三原城を彷彿させる遺構は、三原駅北側に隣接している天主台跡・城町公園北側の船入櫓跡・サン・シープラザ西側の中門跡で代表されるが、本丸御殿関係は現存していない。豊臣秀吉も泊まったとされる客室金之間位置を示す標柱を、しまなみ信用金庫さんの協賛を得て、8月に新設することができた。

十 月 の 行 事	各 地	06日(日)	こはまつり2024	古浜南公園
		14日(月・祝)	例大祭	賀羅加波神社
		20日(日)	例大祭	糸碓神社
			大和元気まつり	大和支所周辺
			御当、場の魚(捧げ鯛の儀)	久井稲生神社
		27日(日)	久井さわやか高原まつり	久井保健福祉センター
		会	26日(土)	三原城・町村略史(3)

P 1	表紙…表題：三原城本丸御殿跡に標柱新設	行事予告
	写真：除幕式で姿を現した「金之間跡の標柱」…三原駅南のバスロータリーにて	
2	旅日記3 嘉麻市碓井平和祈念館	田野浦 友宗 邦夫
3~6	「小坂チンコンカン踊り」を取材して	沼田東町 西村 雅幸
7~11	歴史講演「妙正寺350年の歴史」記録(2)	三原市文化財協会 前会長 橋本敬一
12	会よりの便り	事務局



かななづき
神無月
今月の各地



きのえ たつ
甲辰
むら

AJ2684

令和六年

AD2024

まちまちな歳時記

旅日記3 嘉麻市碓井平和祈念館 田野浦 友宗 邦夫

～どう伝える戦争の記憶～

今年7月30日に福岡県嘉麻(かま)市を訪ねました。嘉麻市は筑豊地方南部に位置し、2016年に碓井町(うすいまち)を含む1市3町が対等合併してできました。

碓井平和祈念館は1996年碓井町時代に平和と人権をテーマに開館。日中戦争から太平洋戦争にいたる様々な戦争資料を常設展示しています。人権コーナーでは九州水平社運動の黎明期に活躍した田中松月の足跡が展示してあります。



碓井平和祈念館を訪ねるきっかけは、今年3月16日に大和町下草井黒谷地区で、故海軍二等兵曹古山正夫像(昭和9年樫梨村建立)に出会い、戦争遺跡の存在に関心を持ったことです。石像には特に説明はなく、今どのように解説したらよいのだろうかという「はて？」が生まれ、まずは有志で碑文の拓本をとり、読み解いてみました。樫梨村から出征した古山正夫さんは、昭和7(1932)年1月28日に始まる上海事変の翌29日に25

歳で戦死します。日中戦争への発端となる上海事変、1941年に戦争美談として国定教科書に掲載される「肉弾三勇士」の物語はこの上海事変から生まれます。

碓井平和祈念館には、落成の日に碓井町長 松岡俊雄さんが撰文し、武富登巳男さん(※)が謹書した扁額「あすの平和を祈る」が掲げてあり、その思いに心打たれましたのでご紹介します。 ※元兵士や遺族から寄贈された遺品等を展示する私設資料館「兵士・庶民の戦争資料館」の創設者

あすの平和を祈る
 わたくしは 戦争の不条理を その体験に学び 地球社会から
 戦争を消し去り 文化に萌ゆる 平和な日々を創ります
 わたくしは 戦争の惨禍と すさまじい殺戮に 目をそむけず
 真実をみつめ 平和の礎に 鎮魂の誠を捧げます
 わたくしは 戦争の美化礼讃を否定し 洞察深く 戦争の歴史を
 未来への証として たじろがず 語り継いでいきます
 大戦後過ぎ去ること五十年 心ここにあり 生の根源に立ち戻り